

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年5月31日

施設名	港区立障害保健福祉センター	施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課
所在地	港区芝1-8-23	指定管理者	社会福祉法人友愛十字会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>地域活動支援センター 放課後等デイサービス</p> <p>さらに個々の支援内容の専門性を高め、ステップアップさせることを目指している。</p>	-	<p>【地域活動支援センター】 職員を年間のべ39回の外部研修に参加させた。また、センター全体・地域活動支援センター内・部門ごとに、職員自ら内部研修を企画し実施している。機能訓練部門には年5回スーパーバイザーが入っている。</p> <p>【放課後等デイサービス】 支援員全員が重症心身障害児対象の摂食嚥下講習を受講。また、看護師は医療的ケア看護師講習会を受講することで各専門分野を学んだ。また、現場から上がった課題を勉強会に落とし込み、事業所内の自主研修を行い、業務の質を高める取組をした。</p>	<p>【地域活動支援センター】 左記に加え、内部事例検討会、他事業・他施設職員との合同カンファレンスを実施する。</p> <p>【放課後等デイサービス】 重症心身障害児の摂食・嚥下研修の継続と医療的ケア実施のため看護師研修の専門分野の研修受講。権利擁護の意識向上、身体抑制等の取組のための外部研修受講と組あわせ内部研修の継続を行っている。</p>	<p>職員が自身の専門性向上やスキルアップに努めている状況を確認した。自主研修の実施など、職員の主体的な姿勢がうかがえる。引き続き、職員がステップアップできる取組や環境づくりを期待する。</p>
<p>就労継続支援B型事業 地域活動支援センター</p> <p>ICTを有効活用した情報システムの構築と活用を期待したい。</p>	-	<p>【就労継続支援B型事業】一部の利用者に対し配布資料を郵送からメール送信にした。</p> <p>【地域活動支援センター】 計画相談は支援ソフトを導入している。また希望する利用者には、区の指導に則った手順を踏んだ上で、メールで支援計画の同意を得るなどの対応をしている。 地域自立支援事業の利用者の情報は、利用者管理システムを作成して管理している。</p>	<p>【就労継続支援B型事業】 長期欠席者とのビデオ通話やオンライン面談を実施。生産活動取引先への請求書送付をPDFでのメール送信に変更の打診。事業所の活動内容をSNSで発信。</p> <p>【地域活動支援センター】 「障害児・者を支援している人への研修」ネット申込を開始した。</p>	<p>地域活動支援センターにおいて、支援シフトや情報システムを導入していることを確認した。今後も、障害保健福祉センター全体として迅速かつ適切な情報共有を行っていくよう期待する。</p> <p>また、各事業において、ICT化の取組を積極的に行っていることを確認した。今後のさらなる取組に期待する。</p>
<p>地域活動支援センター 短期入所</p> <p>人材育成の方向性を明示して、人材育成を計画的に実施することを期待したい。</p>	-	<p>【法人全体】 法人の求める人材像を踏まえ、階層別の人材育成については、全国社会福祉協議会の福祉職員キャリアパス対応研修を法人内で開催する体制を整えた。 法人の人材開発制度に基づき、職員は「自己申告票」を提出し、施設長との面談にて中長期的視野に立ったキャリアプランの形成について話し合っている。</p> <p>【地域活動支援センター】 機能訓練部門では、多様化した福祉ニーズに対応するため、意思決定支援やICFの考え方、多職種連携ができる人材育成を目指し、多職種によるケーススタディを実施した。入浴部門では、新任職員向けのOJTプログラムを見直した。</p> <p>【短期入所】 主たる対象者である知的障害者（児）と身体障害者（児）に対する専門性の向上と権利擁護、虐待防止を人材育成の目標とし、計画的に外部研修への参加を進めることにした。</p>	<p>【地域活動支援センター】 地域で他機関、他職種などと連携できる人材を育成すべく、研修や事例検討などを実施する。自立訓練においてはサービス管理責任者、計画相談においては相談支援従事者現任研修、主任相談支援専門員養成研修修了など、職種や経験などに応じてキャリアアップできるよう中長期的な視点で人材育成していく。</p> <p>【短期入所】 職員の経験や力量を踏まえ、国立リハビリテーションセンター学院が開催する階層別の自閉スペクトラム症支援者研修や強度行動障害支援者養成基礎研修、重症心身障害児者の摂食・嚥下研修、東京都虐待防止研修等外部研修への申し込みを計画的に進めていく。また、外部研修で獲得した成果については、事業所内で伝達研修を開催し、水平展開を図っていく。</p>	<p>人材育成のために、計画的に取り組んでいることを確認した。 また、今後も、職員が人材育成の方向性を理解したうえでキャリア形成できるように、面談等の機会を生かして、十分にコミュニケーションをとっていくことを期待する。</p>